

ドローン使用にあたって

ドローン（RC マルチコプター）を安全に楽しむために

1. はじめに

○平成 27 年 9 月航空法の一部改正により、同年 12 月 10 日から全備重量 200 グラム以上の機体は「無人航空機」に分類され、飛行に関して新たなルールが施行されることとなりました。

○【200 グラム以上】の機体につきましては航空法で定める「無人航空機」に該当しますので遊ばれる場所が飛行可能地域か十分にお調べの上、飛行をされて下さい。また現在、航空法によって以下の領域でドローンの飛行は禁じられています。

- ・ 地表又は水面から 150m 以上の高さの空域
- ・ 空港、送電線、鉄道施設、市街地、公共の場所など人の多い場所

○【200 グラム未満】の機体につきましては、航空法で定める「無人航空機」には該当しませんが、楽しくご利用いただくために以下の項目をお読みいただき、安全とプライバシーにご配慮下さい。

2. 飛行してよい場所と時間を選びましょう

○事前にドローンのフライトが許可されている場所であるか確認して下さい。

○空港、送電線、鉄道施設、市街地、公共の場所など人の多い場所での飛行はおやめ下さい。

○日中、風速約 0～2 m 程度の微風の日を選び、目視の範囲内でのみフライトして下さい。また、暗くなる前にやめるようお願いいたします。

3. 電波障害に気をつけて下さい

○他の電波使用機器からの影響により、ドローンの電波が干渉を受ける場合があります。

○物理的にも電波的にも障害となる物が無い、見晴らしの良い広いエリアが理想的です。

○万が一の突発的に起こる電波障害を考慮し、常にあらゆるリスクに備えて下さい。

4. プライバシー確保へご配慮下さい

○ドローンを用いて撮影を行う場合、事前に周囲をよく確認していただくようお願いいたします。

○撮影した映像を公開する / しないに関わらず、対象物によっては撮影行為そのものがプライバシーの侵害となる可能性を考慮し、周囲のプライバシー確保へご配慮下さい。

5. ケガにご注意下さい

○回転しているプロペラは大変危険です。飛行中の機体を人に近づけたり、ハンドキャッチは絶対に行わないで下さい。飛行前に離陸、着陸方法を理解した上でご使用ください。

○飛行前には必ず機体を点検して下さい。安全のためプロペラを外し各部に異常が無い事を確認して下さい。

○飛行後も必ず機体を点検し、異常が認められる場合は修理を行うまで絶対に使用しないで下さい。

リチウムポリマー (Li-Po) バッテリーを 安全に取り扱いいただくために

1. はじめに

製品には Li-Po バッテリーが採用されています。Li-Po バッテリーは小型、軽量、大出力の反面、安全に使い続けるためには適切な状態を保ち、特性上のリスクを考慮して使う必要があります。以下の注意事項を守り、正しくご利用下さい。

2. 使い方

- 2-1 電圧降下のサインやパワー感の低下が現れたら使用はやめて充電して下さい。
- 2-2 バッテリーに変形や匂い等の異常を見つけた場合は絶対に使用しないで下さい。
- 2-3 バッテリーは絶対に分解、改造をしないで下さい。

3. 充電時の注意

- 3-1 必ず専用の充電器をお使い下さい。
- 3-2 充電中はその場から離れず、異常事態に備えて下さい。
- 3-3 充電完了後は必ず充電器から抜いて下さい。

4. バッテリーの保管

- 4-1 利用後は必ず機体から外し、ある程度充電後、不燃性のケースに収めて下さい。
- 4-2 夏場の車内など 60 度以上の高温状態に放置すると破裂、発火の危険性が有ります。涼しく温度変化の少ない場所に保管して下さい。